

浪速短期大学を選んだきっかけ

高校在学中に、デザインの勉強をしたいと思い、大阪 芸術大学に進学してみたいと漠然と考える様になりまし た。そんな時期に浪速短期大学の存在を知り、その当時 開設されていた、マイプランコースの自由に時間割りが 組めるという所に興味を持ち、デザイン以外にもいろい ろなことにチャレンジ出来るのではと、浪速短期大学に お世話になると決めました。また、大阪芸術大学への編 入の道があることも魅力の一つでした。

在学当時の思い出や印象に残っている先生

その当時、版画の授業には、山中嘉一先生、日下部一司 先生、安井寿磨子先生がおられ、第一線で活躍されてい る先生方の楽しい授業を受けることができました。その 後、先生方とは長期にわたりお付き合いがあり、こんな にもお世話になることとは、想像もしておりませんでし た。また、部活動では軽音楽部に在籍しており、良い先輩、 同期、後輩に恵まれ、みんなで一つのものを創り上げて いく経験をしましたし、本当に楽しかったなぁ!と未だに 思い出します。

シルクスクリーンとの出会い

1年生前期の版画の基礎実習で初めてシルクスクリーン を体験しました。カッティング法という、表面に均一に ニスが塗られた薄いニス原紙をカッターで切り抜いて、 インクが出る孔(あな)をつくる技法です。テーマは「都 市のイメージ]2版2色刷りの課題でしたが、上手く刷 ることが出来ず、5枚刷った中で何枚か失敗しています。 でも版を作る時のドキドキ、刷り上がった時の達成感、「こ れ、なんかおもろい。」と版画専攻に進むと決めました。

卒業後は?

短大を卒業後は、大阪美術専門学校の芸術研究科に1年、

一人ひとりの個性を大切に 版の面白さを多くの人に伝えたい。

毎号プチギャラリーの学生作品にご協力いただいている 大阪芸術大学短期大学部 特任准教授の大舩光洋さんに インタビューしました。

版画家

大舩 光洋

1987年 浪速短期大学デザイン美術科 (版画専攻) 卒業 1988年 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 芸術研究科 修了 1990年 大阪芸術大学芸術学部美術学科 (平版ゼミ) 卒業

3年次編入で大阪芸術大学の美術学科(平版ゼミ)に2年 お世話になりました。芸大の3年生の頃より、学外での 作品発表の活動が始まります。芸大を卒業後は、短大で の非常勤副手、非常勤講師を経て現在に至ります。その 間、学校に籍のない時期もありましたが、途切れること もなく作品制作と作品発表を継続できたことが、今につ ながっているのだと思います。

現在のお仕事について

作品制作と共に、個展、企画グループ展、アートフェア 等で作品発表を行っています。そしてもうひとつ大切な 仕事として、大阪芸術大学短期大学部や大阪美術専門学 校で主に版画専攻の授業に携わっています。母校で後輩 に版画の事を伝えるという、私にとっても難しいけれど も楽しい貴重な時間だと思っています。そのため[仕事] という感覚は薄いかもしれません。作品の事も授業に関 しても、人とのつながりが大事だと痛感しています。

学牛たちに伝えたいこと

自身の経験からも、何事も自分で制限せずたくさんの事 にチャレンジする事が大切だと思っています。全てが成 功するとは言えませんが、失敗の中にも次につながる発 見が潜んでいるはずです。偶然にも自分が納得できる表 現に出会えることも少なくありません。その様な時に、 敏感に察知し対応できる感覚を育ててほしいと思いま す。その感覚は、コツコツと継続して物事に取り組むこ とで生まれてくるものだと実感しています。

今後の展望について

ひとつの軸として版を使った作品制作にはこだわって継 続していきたいと思っています。

その中で偶然的な要素を取り込んだり、版の特性を利用 したりと、ここ十数年やってきたことをさまざまな方向 で発展させ独自の作品を生み出していきたいです。まだ まだ版の可能性をワクワクしながら見つけ出すことが楽 しみです。授業内でも一人ひとりの個性を大切に作品に 活かせるような指導を継続し、版での作品制作の面白さ を多くの方に伝えたいです。

2023年の展覧会情報など

展覧会名 「いきづく空間 -光を刷りこむ-」 期 2023. 4/3 (月) -4/15 (土)

11:00~19:00 (土曜17:00迄、日曜休廊)

展覧会場 ギャラリー白、ギャラリー白3 大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル 2F 3F

http://galleryhaku.com/ Web

2004年より毎年開催されている、ギャラリー白の 企画グループ展

長谷川 睦さん(銅版画、リノカット)、近松 素子さ ん(銅版画)と大舩 光洋(シルクスクリーン)の3人 の版画家による展覧会です。ギャラリーオーナーか ら出されるテーマに沿った三者三様の作品展開とそ の空間を楽しんでいただけます。



プロフィール

1966 大阪に生まれる

1987 浪速短期大学デザイン美術科 (版画専攻) 卒業

1988 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 芸術研究科 修了

1990 大阪芸術大学芸術学部美術学科 (平版ゼミ) 卒業

1988年より関西を中心にリトグラフやシルクスクリーンの作品発表を行う 近年はシルクスクリーンによるモノタイプ作品でアートフェアにも出品し 作品発表の場をひろげている

浪速短期大学デザイン美術科非常勤副手、同大学 非常勤講師、大阪芸術大学 短期大学部デザイン美術学科 客員准教授を経て現在、同大学 特任准教授、 大阪美術専門学校 兼担講師

展覧会歴 直近10件

2021 大舩 光洋 展 (ギャラリー白3・大阪)

2021 いきづく空間 - 版画家に出会った喜び -(ギャラリー白、白3・大阪)

2021 いきづく空間(〇ギャラリー・東京)

2021 ASIA NOW Paris Asian Art Fair (Galerie Anthologie・パリ)

2022 いきづく空間 - 恋文 - (ギャラリー白、白3、白 kuro・大阪)

2022 ART OSAKA 2022 (大阪市中央公会堂 3 階・大阪) 2022 宝塚から一番近いアーティストが生まれる場所 /

大阪芸術大学短期大学部の現在 (宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー・兵庫)

2022 いきづく空間 (O ギャラリー・東京)

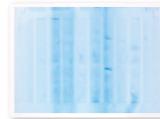
2022 大舩 光洋 展 「ある記憶の想い」 (Note Gallery・大阪)



あの空の想い L-2 screen print (monotype) 70 × 100cm



あの空の想い L-3 screen print (monotype) 70 × 100cm



ある想いの跡 screen print (monotype) 56 × 76cm



56 × 76cm



ある記憶のかたち H-3 screen print (monotype) 54.4 × 42.3cm



あの場所の記憶 Y-4 screen print (monotype) 347 × 42 3cm



授業風景

文責/企画広報委員長 田村 昭彦